

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	遺跡緊急発掘事業			コード	112105	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課	作成者	小坂英文
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化財の保護・活用	
		予算科目	遺跡緊急発掘事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり	
		根拠法令	文化財保護法			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	個人住宅等小規模開発に伴い埋蔵文化財の保護のため発掘調査等を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	埋蔵文化財の保護保全	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	年間を通して個人住宅建設等小規模開発に伴い埋蔵文化財保護のため試掘発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を行った。また出土資料整理を行い概要報告書を発行した。 広畑発掘探検隊事業により、小中学生の遺跡発掘調査体験学習を行った。		
	調査対象遺跡	榎垣外遺跡外	
	調査件数	16件	
	調査面積	284.3㎡	
前年度の課題への対応	新しい都市計画地図を用いて、岡谷市遺跡地図の更新を行った。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 直接事業費	3,026,688	3,024,029	3,056,211	3,000,000	
経常経費	0	0	0	0	
臨時的経費	3,026,688	3,024,029	3,056,211	3,000,000	
* 臨時的経費の説明	遺跡発掘調査に係る作業員等賃金が主なもの				
② 人件費	3,200,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
正規職員の人数(人)	0.40	0.50	0.50	0.50	
③ 合計コスト(①+②)	6,226,688	7,024,029	7,056,211	7,000,000	
前年度比		112.8%	100.5%	99.2%	
財源	4,726,688	5,524,029	5,556,211	5,500,000	
内訳					
一般財源	4,726,688	5,524,029	5,556,211	5,500,000	
特定財源	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
* 特定財源の説明	文化庁国庫補助金 1,500,000円				
④ コストに関する補足説明	個人住宅等小規模開発に伴う遺跡調査				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
なし	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 市民が文化財保護法に基づく届出の意識を持つため、埋蔵文化財保護意識の向上を図る必要がある。
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 新美術考古館がオープンしたことにより、市役所本庁にある文化財担当窓口を美術考古館へ移動し、市民が埋蔵文化財を理解し易い公開をしていく方向性を整える。
改善方法	
改善開始時期	平成26年 4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---